

パスター大倉の牧師室から

『あなたこそ生ける神の子キリストです』(マタイ16:16)

『わたしを見た者は、父(神)を見たのである』(ヨハネ14章9節)

2010年にノーベル平和賞受賞者を受賞した中国の民主活動家の劉暁波(りゅう・ぎょうは)氏が先月、61歳で亡くなりました。彼は天安門事件の中心人物の一人で、獄中にありながらも度々、中国の民主化を訴え続け、投獄の身ゆえに欠席したノーベル賞授賞式では「私には敵はいない。憎しみはない」というメッセージが代読されました。

メディアではほとんど取り上げられていませんが、劉氏は獄中にありながら、諸々のキリスト教神学者の書物を読み、特にアウグスティヌスの『告白』から人間の神に対する罪性や悔い改めといった課題に関心を持ち「中国人の悲劇は神を持たないという悲劇だ」と述べていたといひます。

特にナチスに抵抗して投獄されたボンヘッファーの書に励まされ、妻への手紙に「たとえ何かを変えることができなくとも、少なくとも私達の行為はイエスの精神が今でもこの人間の世界に息づいていることの証しになり、神なき現代社会においてイエスの精神のみが人間の墮落に対抗できる信仰的力となることの証しとなる。…生きる勇氣は希望のみが与えることができ、希望は神と愛とイエスの十字架から来るのだ」と書いています。

劉氏は「おそらく、わたしは永遠に信徒にはならないかもしれないし、組織としての教会に入会することもないかもしれない」と述べながらも「しかしイエス・キリストはわたしの人格における模範だ」と語っていました。『劉暁波伝』を書いた劉氏の友人でクリスチャン作家の余杰氏は、『わたしには敵はいない』という宣言は彼の内面の深みにある大きな宗教的情感に由来しており、特に長きにわたって受けてきたキリスト教の影響による」と語っています。(日本基督教団筑紫教会牧師 松谷暉介のコラム参照)

劉氏が自身の人格が目指すところをイエス・キリストに置いていたということは驚きです。同じことがインドのモハマド・ガンジーにもあてはまります。彼はヒンズー教徒でしたがイエスの「山上の教え」に大きな影響を受けたとされています。

これらの人達が証言しているようにイエス・キリストが人類最高の模範であり、倫理的モデルであるということに同意する人は世界に多くいます。しかし、私達はそこだけに留まっておりません。このお方は神であり、世にあって人の模範であるということ以上の真理がこのお方の内には抱合されているのです。このお方が言葉と行いをもって示された真理は今もこの世界を奮いたたせ、さらにはこの世界の先にまでその約束の言葉をおよんでいるのです。このような偉大なお方を見上げて日々、歩むことができるということは何にも代え難い喜びです。

お知らせ

■新年度の執事会の体制は昨年と変わらず以下のようになりました。議長：井上純一兄、総務：カート・ボウト兄、伝道・宣教：スコット恵子姉、教育：川久姉、礼拝・集会：西井姉

■修養会が豊かに祝福されたことを感謝します。教会の日本語ウェブページから全ての集会・聖会の音声を聞くことができます。<https://www.sdjcc.net/> 来年の修養会を今から計画に入れ、待ち望みましょう。

■7月14日ー15日までウエストコピナ教会で教団総会がもたれ、日語部から町田兄姉が代議員として出席しました。提案事項は全て可決されました。

■8月いっぱい日曜日にバケーションバイブルスクールがもたれています。子供達が多く祝福を得ることができますように。スタッフの方達のおはたらきに感謝します。

■8月20日(日)、大倉牧師はノースカウティー教会でのメッセージを取り次ぎます。ノースカウティーの中島先生はウエストロサンゼルス教会へと転任され、専任の牧師が不在となり、これから大倉牧師は年に5、6回、日曜午後の礼拝メッセージにうかがうこととなります。中島先生の新天地でのミニストリー、またノースカウティー教会を覚えてお祈りください。

■9月3日(日)ー4日(月)、までアグア・カリエンテにて第十一回レイバーディキャンプをもちます。興味のある方は牧師まで。

■9月17日(日)に敬老祝会をもちます。その日は午前10時より日英合同礼拝で、その後いつものように祝会がもたれます。

■10月8日(日)に毎年恒例のフラのアウトリーチがもたれます。多くの方達にフラを通して主の愛が届きますように今から覚えてお祈りください。

■大倉牧師は10月8日(日)ー10日(火)まで福岡で持たれます超教派の九州聖会のメッセンジャーとして訪日します。御用が全うできますようにお祈りください。訪日は10月6日(金)にこちらを発ち14日(土)に帰国します。8日は大川道雄先生がメッセージを取り次いでくださいます。

■10月23日(月)ー25日(水)までオレンジ郡にて修養会準備委員会がもたれ大倉牧師が参加します。来年の修養会のために祈り、プログラムを考えます。

■教会では今、日英執事を中心に教会のミッションステイトメントとビジョンを祈り、求めています。私達の教会に最も適した、主の御心になつたものが与えられますようにお祈りください。

■教会ではセキュリティーチームが日英の礼拝中に教会の内外をパトロールしています。教会のセキュリティーについてお気づきの点がありましたらお知らせください。

■毎週の礼拝メッセージをポッドキャストでいつでも、どこでも礼拝メッセージを聴けるようになりました。<https://www.sdjcc.net/>の日本語サイトをご覧ください。

■洗礼・入会に興味のある方は牧師、執事にお声をおかけください。喜んでお手伝いをさせていただきます。

■病床にある方々、治療のただ中にある方々の上に天来の癒しと回復の力が日毎に与えられますようにお祈りください。